



東山の雄

一関市立千厩中学校
学校だより第19号
令和7年9月11日
文責：坂本 真

第1回学校教育活動アンケート結果（生徒編）

1学期末に行った学校教育活動アンケートの結果をお知らせします。結果を校内の教職員で共有し、2学期の教育活動にいかしてまいります。

令和7年度第1回学校教育活動アンケート（生徒）集計結果※回答率 95%		■あてはまる ■ややあてはまる ■あまり ■あてはまらない			
		あてはまらない			
【確かな学力の定着】	1 勉強することは好きですか？	17	36	38	10
	2 授業で新しいことを学ぶことは好きですか？	31	49	17	4
	3 学級は学習に適した雰囲気ですか？	26	59	13	3
	4 家庭学習で、各教科の課題に取り組んでいますか？	47	42	9	2
	5 授業で学習した内容が定着している（身に付いている）と思いますか？	29	54	14	3
	6 授業中に自分の考えを友だちに伝えることができているか？	38	44	14	4
	7 授業中に自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか？	33	47	17	4
【豊かな人間性の育成】	8 時間を守って生活していますか？	58	36	6	
	9 時間いっぱい隅々まで掃除していますか？	74	23	2	2
	10 自分から元気に明るく挨拶していますか？	49	39	10	2
	11 自分には良いところがあると思いますか？	38	38	17	8
	12 将来の夢や就きたい職業など具体的な目標をもっていますか？	37	32	21	10
	13 生命の尊さを理解し、大切にしていますか？	74	22	4	
	14 いじめを含む差別をしていません	86	10	2	2
【健やかな心身の育成】	15 復興教育の3つの価値「いきる・かかわる・そなえる」の意味を理解していますか？	64	31	5	0
	16 復興教育（復興朝読書、避難訓練、小中引き渡し訓練など）を通して学んだことを意識した生活を送っていますか？	56	37	7	1
	17 学校に行くのは楽しいと思いますか？	44	41	12	4
	18 日ごろから健康を意識した生活を送っていますか？	44	46	9	1
※	19 ゲームやスマホ等の使用は家庭でルールを決めて行っていますか？	39	32	16	13
	20 学校での出来事について家族で話をしますか？	42	40	15	4
※	21 地域行事、地域でのボランティア活動に参加していますか？	22	33	28	17

千厩中学校まなびフェスト達成状況とその対応について

【確かな学力の定着】

- 1 「学習した内容や技能が身に付いている」と思う生徒の割合を 75%以上にします。
主要5教科（国語・数学・社会・英語・理科）の結果を合わせて集計すると、肯定回答が83%となり、目標値を達成することができました。教科別に見ると達成できていない状況があるので、教科担任を中心に改善に努めます。
- 2 「授業で、自分の考えを深めたり広げたり、伝えたりすること」ができている生徒の割合を 75%以上にします。
肯定回答が80%となり、目標値を達成することができました。否定回答を減らし、積極肯定回答を増やせるように、「自分の考えを深めたり広げたり、伝えたりする」場の設定を工夫するなど、授業改善に取り組みます。
- 3 家庭学習で、各教科の課題にしっかり取り組んでいる生徒の割合を 75%以上にします。
肯定回答が89%となり、目標値を達成することができました。否定回答を減らし、積極肯定回答を増やせるように、家庭と協力し、家庭学習の習慣づけと内容の充実に取り組みます。”

【豊かな人間性の育成】

- 1 復興教育の「いきる・かかわる・そなえる」の3つの意味を理解している生徒の割合を 70%以上にします。
肯定回答が75%となり、目標値を達成することができました。否定回答を減らし、積極肯定回答を増やせるように、毎月の復興朝読書の時間の前後に価値について意識させながら取り組みます。また、避難訓練を通して、価値についての理解を深めます。
- 2 「時を守り 場を清め 礼を正す」ができている生徒の割合を 90%以上にします。
関連する質問の結果（8～10）を合わせて集計すると、肯定回答が93%となり、目標値を達成することができました。生徒会執行部を中心に組み込んだ日常の取り組みの成果です。礼（10 あいさつ）については、積極肯定回答を増やせるように意識して取り組みます。
- 3 自分にはよいところがあると思う生徒の割合を 80%以上にします。
肯定回答が76%となり、目標値を達成することができませんでした。学校生活のあらゆる場面で、「自分も一人の人間として大切にされている」という自己存在感を、児童生徒が実感することを大切にしていきます。また、ありのままの自分を肯定的に捉える自己肯定感や、他者のために役立った、認められたという自己有用感を育むことを学級・学年・全校（生徒会活動・委員会活動・部活動等）での活動で意識して指導・支援にあたります。”
- 4 将来の夢やつきたい仕事など具体的な目標をもつ生徒の割合を 75%以上にします。
肯定回答が69%となり、目標値を達成することができませんでした。2学期の職場訪問、社会体験、キャリア講演会、進路指導を通して、将来への夢や目標を持つ生徒を増やすよう努めます。

【健やかな心身の育成】

- 1 学校に行くのが楽しいと思う生徒の割合を 90%以上にします。
肯定回答が85%となり、目標値を達成することができませんでした。自己決定する（自ら考え、選択し、決定する）機会を増やしたり、間違いや失敗を笑わないなど相手の立場に立って考え、行動できる共感的な人間関係をつくったりするなど、学級・学年・学校経営を見直して教育活動に取り組みます。
- 2 健康を意識した生活（三食を摂る、適度な睡眠、歯磨き習慣、適度な運動等）を送る生徒の割合を 80%以上にします
肯定回答が90%となり、目標値を達成することができました。否定回答を減らし、積極肯定回答を増やせるように、2学期の保健講話や保健だよりを活用し、家庭と協力しながら基本的生活習慣の確立に取り組みます。

【家庭や地域から信頼される学校】

- 1 地域行事への参加、地域でのボランティア活動に参加する生徒の割合を 70%以上にします。
肯定回答が55%となり、目標値を達成することができませんでした。地域からの声を聞いたり、校報を通じてボランティア募集を募ったりしながら地域に貢献する生徒の育成に努めます。（11月1・2日の千厩産業文化祭のボランティア募集を行います）

※積極肯定回答（あてはまる）、肯定回答（あてはまる＋ややあてはまる）、否定回答（ややあてはまらない＋あてはまらない）